

世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：学んだ知識と技術を活かしてできること』 平成28年5月12日（木）17：00～

☆	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	問屋町のヤマダ電機とゼビオの間は出入りが難しく事故の原因になるのではないのかと思うので、信号機や横断歩道を設置してほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>ご指摘の場所は普段から交通量も多く、付近には他にも商業施設が集まっており、交通規制が必要な場所と考えています。</p> <p>信号機や横断歩道の設置は、地域の皆さんの総意として警察署に要望していただくことが必要ですが、信号機や横断歩道などの交通規制を担当している警察署に確認したところ、「当箇所の交通状況は認識しており、現在、地元と協議中です。」との回答をいただきました。</p>	都市・交通計画課 中津 優 089-948-3421
2	JRと伊予鉄道の連結やICカードの統一をできないか。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>JRと伊予鉄道の連結やICカードの導入・統一が実現すれば、利用者にとって公共交通の利便性向上や利用促進につながると思います。</p> <p>しかし、自動車の普及による公共交通利用者の減少は、交通事業者の経営を圧迫し、国や県、市が赤字額の一部を補助しているのが実情です。</p> <p>多額の費用を必要とする事業は交通事業者も慎重な対応となるため、現状では難しいと聞いています。</p> <p>松山市としては、国や各都市の動向を把握しながら、今後も交通事業者と協議していきたいと思っています。</p>	都市・交通計画課 松田 博 089-948-6846
3	堀之内にある駐車場の台数が少なく土日に渋滞しているが、対策はされているのか教えてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降	<p>堀之内にある県庁西側の駐車場を管理している愛媛県にご意見をお伝えし、駐車場入り口にガードマンの配置をしていただきました。</p> <p>松山市としては、渋滞の原因となる停車をしないよう</p>	都市・交通計画課 中津 優 089-948-3421

		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	誘導をお願いするとともに、周辺の駐車場をご案内いただくなど、有効活用を愛媛県に提案しました。松山市営の二番町駐車場は、休日の料金を割安に設定していますので、利用していただきたいと思っています。	
4	南海トラフの大地震が懸念されているが、避難場所、食料、飲料水の確保についてどのような対策を行っているのか教えてほしい。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、さまざまな災害に備え、小中学校や公民館など、できるだけ多くの公共施設等を避難所として指定しています。避難を必要とする災害が発生した場合には、災害の種類や規模などに応じて、現在指定している避難所の中から、安全な避難所を早期に開設します。その際には、防災行政無線、テレビ、ラジオなどで、市民の皆さんを着実に誘導できるよう、さまざまな手段を活用して周知します。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震等に備え、現在、約7万5千食の食料をはじめ、飲料水や毛布、日用品セット、簡易トイレなどを、主に市内5カ所の防災備蓄倉庫などに保管し、災害時には必要な物資を迅速に避難所等へ搬送するとともに、備蓄物資が不足することになった場合は、市と物資や飲料水の提供の協定を結んでいるスーパーなどに要請します。しかし、災害時には、道路の寸断などによって、必要な物資をすぐには届けられないことも考えられますので、日頃から各家庭でも、1週間分程度の食料や飲料水のほか、家族構成に応じて必要な備蓄をお願いします。</p>	危機管理課 伊達 真 089-948-6815
5	松山市の姉妹都市であるフライブルクとサクラメントの特産品や郷土料理を使った姉妹都市博を開催してみてもどうか。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降	松山市では、愛媛県と共同で、毎年11月に城山公園で「えひめ・まつやま産業まつり」を開催しています。特に昨年度は、友好交流都市である台北市をはじめ、姉妹都市であるサクラメント市やフライブルク市、友好都	観光・国際交流課 上甲 亮介 089-948-6887

		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>市の平澤市の食の魅力や観光情報などを紹介するコーナーを設置し、サクラメント市の食ブースでは河原パティシエ・医療・観光専門学校、河原高等専修学校の学生に協力をいただき、来場者に姉妹都市の食文化を堪能していただきました。</p> <p>今年度は、サクラメント市との姉妹都市提携が35周年となることから、記念訪問団が来松し、10月の「みんなの生活展」にPRブースを特別出展する予定です。</p> <p>また、(公財)松山国際交流協会でも、毎年1月に「地球人まつり」を開催し、姉妹都市などのほか、世界のさまざまな国や地域の文化などを留学生たちが広く紹介しています。</p> <p>今後も、集客力のあるイベント等を活用しながら、市民の皆さんに海外の姉妹・友好都市や友好交流都市の文化や観光などの魅力に触れていただく機会を提供していきます。</p>	
6	<p>松山の魅力を県外の若い方にPRすることが大切だと思うので、動画を活用してみてはどうか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、松山魅力を全国に発信するために、オリジナルアニメーション「マッツとヤンマとモブリさん」を第2弾まで制作し、YouTubeでの再生回数は2作品合わせて約24万回となっています(平成28年5月末現在)。</p> <p>また、今年の3月には松山の暮らしやすさや人のあたたかさを伝えるためにオリジナルロードムービー「移住お遍路 Moving☆5」を制作し、YouTubeでの再生回数は約10万回となっています(平成28年5月末現在)。</p> <p>若い世代への動画による情報発信は、大変効果があると考えていますので、今後も動画を活用したPRを積極</p>	<p>シティプロモーション推進課 毛利 雄一郎 089-948-6707</p>

			的に進めていきます。	
7	<p>ニュース等で児童虐待の事件が相次いで報道されているが、どのような働きかけやサービスが必要と考えているのか聞かせてほしい。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、子どもに関する相談窓口を一元化し、「松山市子ども総合相談」として、総合的な支援を迅速かつ的確に行っています。</p> <p>児童虐待防止のためには、関係機関と密接に連携した取り組みや、子どもやその親だけでなく地域全体で見守ることが大切であると考えています。そこで、注意すべき虐待の具体的内容や児童相談所など24時間対応できる連絡先などを記載したリーフレットを市民サービスセンターや公民館などの窓口へ設置したり、民生・児童委員を通じて広く周知しています。</p> <p>また、子どもを見守るためのネットワークである「要保護児童対策地域協議会」を設置することによって、地域や保育所、幼稚園、小中学校などの関係機関と連携し、児童虐待の早期発見・早期対応・未然防止に努めています。</p> <p>今後も、より多くの市民の皆様に見守るための児童虐待防止について理解を深めてもらい、市民の皆さんにご協力をいただきたいと考えています。</p>	<p>子ども総合相談センター 事務所 岡部 寿 089-943-3216</p>
8	<p>保育所は0歳時の受入数が少ないが、低年齢の乳児や幼児に対してどのような対策をしているのか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>0歳児は、3人につき保育士1人が必要であることや1人当たりの面積基準が高いことなどにより、1施設当たりの受け入れの人数は限られています。</p> <p>しかし、松山市の待機児童の約8割が3歳未満児であるなど、低年齢児の保育需要が高く、本市では、子ども・子育て支援新制度（平成27年4月施行）で創設された3歳未満児を対象とした小規模保育が有効と考え、施設</p>	<p>保育・幼稚園課 横山 憲 089-948-6859</p>

			<p>整備費の補助を実施するなど、平成28年4月には5カ所を開設し、現在の13施設に加え、平成29年度は新たに数カ所が開設できるよう準備を進めています。</p>	
9	<p>愛媛国体で学生でもできることがあると思うので協力させていただくことが可能か。</p>	<p>■可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>松山市では、市民総参加で国体を盛り上げようと、えひめ国体の松山市開催競技の運営をお手伝いいただく運営ボランティア「まつやまえがおサポーターズ」を募集し、おもてなしの心で全国から訪れる方々を温かくお迎えしたいと考えています。</p> <p>そのために、一人でも多くの方々のご協力が必要ですので、是非、ボランティア登録をお願いしたいと思います。募集については、後日学校を通じてご案内させていただきます。</p> <p>なお、「まつやまえがおサポーターズ」の活動内容は、受付・会場の案内や会場整理などですが、詳しくは国体総務課までお問合せください。</p> <p>ボランティア募集HP： http://www.matsuyamacity-kokutai.jp/volunteer/</p>	<p>国体総務課 菅能 有三 089-909-7844</p>
10	<p>南海トラフ地震が発生した際の医療体制について教えてほしい。</p>	<p>■可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>松山市では、大規模災害が発生した場合、災害対策本部事務局の指示によって救護所を設置し、応急処置を実施します。救護所は、市医師会館など市内に指定している28カ所を必要に応じて開設し、他の医療機関と連携しながら、症状に応じ搬送や対処を行います。</p> <p>さらに、災害時でも円滑に必要な医療や医薬品等の物資の提供を受けられるよう、市医師会・市歯科医師会・県薬剤師会・県医薬品卸業協会と協定を締結し、大規模災害に備えた体制を整えています。なお、市内には、災害基幹拠点病院として愛媛県立中央病院、災害拠点病院</p>	<p>医事薬事課 野本 崇兼 089-911-1865</p>

			として松山赤十字病院が指定されています。	
11	<p>三津の朝市の活性化計画の現状を教えてください。新しい集客施設を建設するのであれば、昔の建物にあった丸屋根や朝市を示すマークなどを入れてみてはどうか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>「三津の朝市」の誘客施設の整備については、平成25年に実施した「事業化可能性調査」の結果を受けて、まずは空き家などを活用した小規模な分散型施設の整備や拡充に取り組み、集客能力や住民ニーズが高まり、また、事業の採算性など環境が整った段階で改めて大規模な施設の整備について検討したいと考えています。</p> <p>また、松山市が平成26年3月に定めた「三津浜地区活性化計画」では、集客につながるまちの魅力を高めることで、新たなにぎわいと交流の創出を目指しています。</p> <p>現状では、三津浜地区にある空き店舗や古民家を使った「町家バンク」や「チャレンジショップ」を設置・運営することで新規の出店を促進するとともに、「三津浜焼きのブランド化」をはじめとする地区の食文化を活用するなど、固有の地域資源を生かした新たなにぎわいの創出を図っています。</p> <p>ご提案の建物のデザインやマークについても、施設の整備に関する環境が整った段階で、併せて検討していきたいと考えています。</p>	<p>坂の上の雲まちづくり担当部長付 山本 彰一 089-948-6942</p>
12	<p>「愛媛県おもしろいな」とPRをするイベントを実施すれば地域活性にもつながると思う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、道後温泉本館の改築120周年を記念して道後温泉の新たな魅力を発信するため、平成26年度から道後アート事業を実施しています。温泉という地域資源にアートを取り入れることで、地域の回遊性が高まり、「まち巡り」が楽しめるものとなっています。今年度も引き続き、「最古にして、最先端の温泉アートエンターテイメント」をテーマに、「平成28年度 道後温泉ア</p>	<p>道後温泉事務所 白形 誠基 089-921-6464</p>

			<p>トプロジェクト」として、「街歩き旅ノ介 道後温泉の巻 山口 晃 道後アート2016」を開催します。現在、第1弾が開催中で、第2弾は7月から、第3弾は9月からを予定しており、3つの期間に分けて作品を展開し、来年の8月31日までの開催となっています。今後も、地元の関係者の皆さんと継続して協議を進めながら、話題性のあるイベントづくりに努めていきたいと思ひます。</p> <p>また、11月5日・6日には堀之内の芝生広場で「ゆるキャラ®グランプリ2016 in笑顔(えがお)のえひめ」が西日本で初めて愛媛・松山の地で開催されます。会場内に多くのゆるキャラブースや地元のグルメブースをはじめ、全国各地からの特産品などが集まることで、約5万人の来場者を見込んでいます。ゆるキャラグランプリは、翌年のえひめ国体のプレイベントとして位置づけられており、国体への機運を高め、愛媛のPRと地域の活性化につながるものと考えます。</p> <p>さらに、平成26年度から三津浜地区の方々が主体となって開催している「ご当地こなもんサミット」について、今年度は規模を拡大して「全国ご当地こなもんサミット2016 in松山」として「ゆるキャラグランプリ」と同時開催します。このイベント開催を通じて、三津浜地区が「こなもん」の聖地として全国に認知されることで、多くの方が三津浜を訪れてくれることを目指したいと考えています。</p>	<p>観光・国際交流課 岡田 敏 089-948-6555</p> <p>坂の上の雲まちづくり担当部長付 山本 彰一 089-948-6942</p>
13	JR周辺整備について進捗状況を教えてほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中	<p>松山駅周辺地区では、愛媛県が行うJR松山駅付近連続立体交差事業と松山市が行う松山駅周辺土地区画整理事業等で、県都の陸の玄関口にふさわしいまちづくりを</p>	<p>松山駅周辺整備課 片岡 泰広 089-948-6742</p>

		<input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>進めており、両事業とも、平成32年度の完成を目標にしています。</p> <p>現在、連続立体交差事業は、伊予市と松前町にまたがる地区に新車両基地・貨物駅や行違い線の整備のほか、松山駅の南北の高架区間で用地の買収を行っています。</p> <p>土地区画整理事業は、駅の西側地区で宅地の造成工事などを進めており、事業の進捗率は26.1%（平成28年3月末現在）です。</p> <p>引き続き、残る区域で事業に取り組み、道路、公園、宅地の整備を進める予定です。</p>	
14	動物病院の夜間診療について、認知度を上げる活動を行っているのか聞かせてほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>現在、松山市内及び近郊の一部の動物病院で夜間診療を実施していますので、今後、本市が開催している愛犬のしつけ方教室や犬猫の譲渡会、また、収容動物の返還・譲渡などの機会を通して周知していきたいと考えています。</p>	<p>生活衛生課 栗原 伸二 089-911-1862</p>
15	道後温泉本館が改修されるが、工事期間中の観光対策を考えているのか。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>道後温泉本館修復工事中の観光入浴客の受け皿として、新たな温泉施設「(仮称)椿の湯別館」の整備に加え、道後でのアートイベントの継続的な開催など、工事による影響の緩和に取り組んでいます。</p> <p>また、修復工事中の観光対策として、姫路城などで実施していた「工事を見せる」工法等、修復工事を観光資源として活用する方法に加え、参加型の修復工事やイベントの開催などについても検討していますので、市民の皆さんにも関わっていただき、愛着や誇り、後世に大切に守り伝えていく意識を実感していただきたいと思いま</p>	<p>道後温泉事務所 山下 勝義 089-921-0101</p>

			す。	
16	<p>千舟町通りを永木町方面から西に進むと、銀天街と大街道の間の信号に直進の標識があるが、路面には左折可のマークがあるのでわかりにくい。</p>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>銀天街は、昭和49年に歩行者専用道路になり、大街道は、昭和49年に一部の時間帯を除き車両の通行が禁止され、昭和57年に歩行者専用道路になりました。</p> <p>標識などを担当している警察署にご意見をお伝えしたところ、「この標識は、大街道、銀天街が歩行者専用道路になった際に誤って大街道に車両が侵入しないように設置したもので、当分の間は維持する必要があります。」との回答をいただきました。</p>	<p>都市・交通計画課 中津 優 089-948-3421</p>